

## 「同じ子どもなのに」 相次ぐ壁に心が折れる 医療的ケア児の母たち

朝日新聞デジタル 2021年10月27日

<https://digital.asahi.com/articles/ASPBV3DZFPBSULUC00N.html>

> ◆本記事の筆者は青森朝日放送・中嶋修平記者です◆

「断られ続けると心が折れてしまい、本当に絶望だよね」

「絶望。自分だけ取り残されている。生きていること自体を否定されているような気になった」

医療的なサポートが必要であることを理由に、子どもの保育所への受け入れを断られた経験のある、青森市の福士裕美さん（39）と[青森県十和田市](#)の鈴木直子さん（45）の会話だ。

たんの吸引や栄養摂取など、医療的なケアが日常的に必要な子ども「医療的ケア児」は、全国で推計2万人超。青森県の事業所等実態調査によると、県内には166人（2020年度、推計）いる。医療技術の向上により、年々増加している。

福士さんの長男、叶都（かなと）君（5）は妊娠25週目、668gで産まれた。間もなく脳出血を起こし、両手両足のまひ、発作を繰り返す脳の病気、てんかんなどを発症した。看護師として病院に勤務していた福士さん。叶都君のサポートは看護師なので問題なかったが、「保育所の壁」が立ち上がった。24時間介護のため、保育所に預けなければ仕事は続けられない。だが、[青森市](#)内約30の保育所に電話をかけては断られ続け、6年間勤務した病院を退職せざるを得なかった。「自分が壊れてしまったら何もしてあげられない」。福士さんは涙ながらに振り返る。

### 保育所に通うのは青森県内で12人

鈴木さんは、青森市に居を構えようと土地を購入していたが、市内では次男、康平君の受け入れ先が見つからなかった。事情を知った十和田市内のこども園が手を挙げてくれ、家を[十和田市](#)内に新築して康平君を預け入れた。

保育施設で医療的ケア児の受け入れが難しい理由としては、対応する看護師の人材不足や人件費の問題、医療設備の整備、事故のリスクなどが挙げられる。保育所と認定こども園（522施設）を対象とした青森県の調査では、「受け入れ困難」と回答したのは約9割の469施設。「症状によって受け入れ可」は49施設。「受け入れ可」は4施設のみだった。実際、未就学児71人（推計）のうち、保育所に通っている子どもは12人とどまっている。

「保育所の壁」だけではない。小学校進学が迫ると「小1の壁」が立ち上がる。

福士さんは2年かけ、叶都君を預かってくれる保育施設を見つけた。叶都君をケアできるよう保育所が新たに看護師を雇い、福士さん自身も隣接するこども園で働けるようになった。だが、すぐに就学に向けた厳しい現実と直面する。通学は、自ら付き添うしかないと覚悟している。だが、6～18歳の障がいのある子どもたちのための福祉サービス「放課後等デイサービス」に通えないと、仕事との両立は難しくなる。県によると、放課後等デイサービスで、[医療的ケア児](#)を「受け入れ可」としているのは15事業所。偏在しているため、保護者の送迎が不可欠であったり、定員に限りがあったりする場合もある。福士さんが仕事しながら預けられる「受け入れ可」は1事業所しかない。受け入れてもらえなければ、また離職を迫られることになりかねない。

### 孤立化防げ 走り出した支援法

21年6月、超党派の議員立法で医療的ケア児支援法が成立し、9月に施行された。これまで国や地方自治体などの支援は「努力義務」だったが、「責務」となった。支援法には▽居住地域に関わらず、適切な支援をする▽保育所や学校への看護師の配置▽都道府県に支援センターの設置、などが盛り込まれた。

通学については、すでに医療的ケア児とその家族を行政が支援している地域もある。大阪府では、府の制度で介護タクシーが自宅まで迎えに行き、看護師が学校まで子どもと添乗する。箕面市（大阪）では、市で雇用する看護師が添乗し、市立学校に通う自力通学が困難な子どもたちの送迎を支援している。

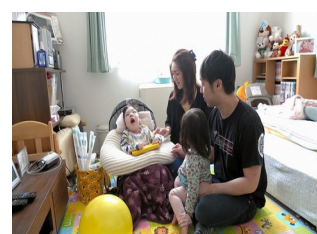
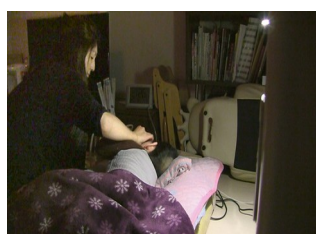
支援センターについては、医療的ケア児とその保護者たちが、窓口一括で保育所や事業所などの情報提供を受けられるような役割が期待される。

福士さんや鈴木さんは、自ら保育所探しを行い「絶望」してきた。支援法が機能することで、これから医療的ケア児が生まれてきても、子どもとその保護者が社会から孤立しないことを期待したい。

青森朝日放送 制作の「同じ子どもなのに...～医療的ケア児を支える場を～」は、

[テレビ朝日](#)系列の全国 24 社が共同制作しているドキュメンタリー番組「テレメンタリー 2021」で 26 日未明に放映。11 月 3 日午前 9 時 55 分から、同放送で再放送する。ディレクター、記事の筆者はともに同放送の中嶋修平記者。ナレーションは女優・菊池桃子さん。

.....などと伝えています。



△過去の放送 | テレメンタリー | テレビ朝日

**2021 年 10 月 24 日（日）放送**

「同じ子どもなのに・・・～医療的ケア児を支える場を～」

<https://www.tv-asahi.co.jp/telementary/backnumber/0095/>